

こんにちは
日本共産党

市会議員 西野さち子です



危険すぎる灰溶融施設は本格稼働中止を!!



多彩な顔ぶれのシンポジストのみなさん。発言しているのは門祐輔(前の知事候補)さん。

6月12日に行われたシンポジウム「福祉と防災のまちづくり」に西野さち子市議が参加をしました。シンポジウムでは、地域のつながりや医療体制の充実などが報告され、実際に被災地支援に行かれた経験なども交えての発言もありました。会場からの発言は次々と手が上がり、原発への不安や震災対策への不安などが出てきました。西野さち子市議は、「伏見区での液状化対策・黄壁断層が焼却灰溶融施設に与える影響。震度6以上の大地震が起こっても自動停止しない施設で安心なのか」などについて、質問をしました。そし

伏見革新懇「福祉と防災のまちづくりシンポ」で西野市議が発言

て、最後にシンポジストの先生からは「学ぶことが大事。まちづくりについては、何度も繰り返し今回のような会を開いてほしい」と締めくくられました。

安心・安全な外環、奈良街道を 党支部と申し入れ

日本共産党池田東支部で取り組まれたアンケートで、多くの要望が寄せられました。西野さち子市議とばばこうへい府議は池田東支部の皆さんとともに、京都府警山科署、伏見土木事務所に申し入れをしました。上京区でつくられたよ

うに「歩行者にも安心で、自転車も安心して走れるよう自転車道を設置してほしい」「信号機が分かりにくい。改善を」「横断歩道が薄くなっているか所の改善」「外環道に大型トラックが頻繁に通るため、輪だちが出来て危険。また、近隣の住宅に振動の被害が出ているので、早急に改善を」等、申し入れをしました。その後山科署はすぐに現地調査をされたそうです。土木事務所も「すぐに調査する」と約束していただきました。くらしの願い実現に向けて行動する日本共産党です。



「できるか? 原発ゼロプログラム」

■7月10日(日) AM10時~
■呉竹文化センター

日本共産党伏見地区委員会の主催で、7月10日の10時から呉竹文化センターでおこなわれる「できるか?原発ゼロプログラム」の案内に、西野さち子市議と山根ともみさんが、伏見区長や伏見土木事務所長などを訪問しました。同時に、不破さんの「“科学の目”で原発災害を考える」と日本共産党の「復興への希望が持てる施策、原発からの撤退を求める」(第2次提言)での懇談も行いました。原発の危険性はどなたも感じておられ、「自然エネルギーへの転換は進める必要があります」「不破さんのパンフは、読ませていただきます。科学の目はぶれませんから」と言っていただきました。いろいろな立場の方たちの意見を集めて、取り組みを成功させましょう。

